



3月7日に予定しておりました市民活動センターまつり2021（主催：廿日市市民活動センターまつり実行委員会）は、新型コロナウイルス感染症の拡大の恐れがある状況を受け、参加者および運営関係者の健康と安全を最優先に考慮し、昨年に引き続き、やむを得ず中止としました。来年こそ、コロナウィルス感染症に怯えることなく開催できますよう、スタッフ一同がんばってまいります。

廿日市市民活動センター運営協議会 市民活動センターまつり実行委員会 会長 後藤 香代子



# さくら de ファミリー

## 登録団体代表者研修会の報告

3月6日、山口県東部ヤクルト販売株式会社の池田めぐみさんに「免疫アップは体カアップ かせに負けない新型コロナにも負けない身体をつくる」という演題に沿って講演いただきました。今年度は、コロナウィルス感染症対策として、研修会参加者を申し込み先着順50名に限定し、ディスタンスを取って、講演会を開催いたしました。私たちが日本人は、昔ながらの食習慣で自然と免疫力を高めていましたが、食の欧米化が進んだことで免疫力が下がってきています。更に、この一年間、私たちはコロナウィルスという未知のウィルスとたたかうことになり、免疫力を上げることは、とても大事なことでと学びました。免疫細胞の6割は腸に存在することから、腸内の免疫力アップが重要だというお話もあり、乳酸菌をしっかり取り込むことで、腸内細菌が活発になるそうです。免疫力を高める要因として、笑うこと（作り笑顔でも、口角をあげることは大事！）、バランスの良い食事をとること、質の良い睡眠や十分な休養をとること、適度な運動をすることだと教えていただきました。今回の講演会は、今すぐ、私たちの生活に役立つ、ためになるお話でした。来年度は、よりたくさんの団体の皆様にご参加いただけますよう、早くコロナ禍が落ち着くことを願うばかりです。



山口県東部ヤクルト販売株式会社 管理栄養士 池田めぐみ さん

## センター内移動棚・メールボックス・貸しロッカー 使用団体募集!

この度、センター内の移動棚に2区画、メールボックス12個、貸しロッカー9区画の空きができました。4月から利用可能となります。多数応募があった場合は抽選とし、未使用団体を優先させていただきます。お問い合わせは、センター受付まで。

移動棚	使用料	月々100円	年間	1200円
メールボックス	使用料	月々100円	年間	1200円
貸しロッカー	使用料	月々100円	年間	1200円



## 令和3年度提案型連携事業の募集

★連携事業実施の目的  
市民活動センターに集う登録団体同士が連携し事業や活動を通して、お互いに支え合うことで他の団体に興味を持ち、理解することによりそれぞれの得意分野を活かした、よりよい活動が展開されることを目的として実施します。

募集期間：4月1日（木）～5月28日（金）  
応募方法：事業提案書を作成し、市民活動センター受付に提出（提案書は受付にあります）  
審査・選考：6月10日（木）16時～ 運営協議会にてプレゼンテーション 場所/市民活動センター 1階会議室

★その他詳しい内容につきましては、配布した応募の手引き、またはホームページをご覧ください。お問い合わせは、センター受付まで尚、令和2年度提案型連携事業は、館内の事業報告ポスターにて展示いたしております。ぜひご覧ください。

## ネットワーク登録更新書類の提出が切がせまっております!

1月下旬に送付いたしました新年度の登録更新書類の締め切りは、3月末とさせていただきます。ご提出がお済みでない団体担当者の方は、いま一度ご確認をよろしくお願いいたします。

GW 休館日  
4/29(木)・5/3(月)～5/5(水)  
ご利用の際はご注意ください!

記事協力 佐伯文芸クラブ 代表 今田 進

### 佐伯・今昔物語 その四 道案内の百姓殺されるの語

今は昔、陶軍の武將が道案内の百姓を殺したことを話そう。陶軍が玖波の、大石がりやというところへ攻めこんだときは、まるで激しい雷が鳴るような合戦が行われた。陶方の山口権五郎は、相良方の大将・原田近江介の首を討ち取ったが、逆に陶方の山口左衛門介は栗毛の馬に乗って逃げていくところを、相良方の大将・田原源五左衛門が後ろの方から鉄砲の二連発で撃った。すると山口左衛門介の兜は右に脱げて落ち、その体は馬から離れて左に落下した。田原源五左衛門は、すぐ山口左衛門介が落馬したところへ走り寄って、その首を刎ねた。

山口権五郎房長は玖波の北にある梅橋つがのはしまで相良軍を追い崩したが、相良方の武田八郎は、山口権五郎を鉄砲で討ち取り、名もない敵兵も数人討ち取った。陶方の大将 弘中友貞、青景掃部、松井太郎右衛門らは玖波の大蔵の宮まで追われ、大蔵の宮を陣にして立て籠もっているところを武田八郎が東の山から数十挺の鉄砲で撃ちまくった。

弘中参河守友貞は玖波から山里へ佐伯方面へ攻め入ろうとして、玖波の西山の峰に攀じ登って山中に入り込んだ。しかし大木が繁って道もなく、迷ってしまったので、その晩は山の中で野宿して、明るる五月七日の朝になって、あちこちさまよい歩こうと百姓たちが戦乱を避けて隠れている所にさしかかった。

弘中友貞は百姓に「山里方面へ行く道の案内をしてくれれば褒美をやる」と言った。百姓は大いに喜んで浅原への道を案内して、浅原の人家の見えるところまで来たとき弘中は「それでは約束の褒美をやる」と言って、案内した八人の百姓を、その場で全部首を刎ねてしまった。その百姓の首塚は廿日市市浅原郷の向こうの谷間の道下にあったが、今は道路工事のため壊された。



百姓の首塚があった浅原の郷

## お知らせコーナー

### 「森のこどもたち」写真展

日時：令和3年4月14日（水）～18日（日）  
場所：はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあ 美術ギャラリー 入場無料  
主催：青少年夢プラン実行委員会  
共催：一般社団法人ひろしま森のおもちゃ協会

森や自然の中で遊ぶこどもたちのさまざまな表情をごらんください♪

掲載希望の方はセンター受付まで！  
次回56号は6月末発行予定です。

### 土曜朝市

新鮮野菜、果物、巻き寿司 などいろいろありますよ♪

日時：毎月 第2・第4土曜日 7:30～  
売り切れしだい終了  
コーヒー・ポップコーン 無料

場所：串戸市民センター  
主催：串戸地区自治協議会  
※出店希望者は串戸市民センターまでお申し込みください。(☎0829(32)2096)

\*\*お問い合わせ先\*\* 廿日市市民活動センター  
廿日市市住吉 2-2-16 ☎829-32-3741 fax0829-32-3742  
HPアドレス <http://www.hatnet.jp/>

\*\*ネットワーク現在の状況\*\*  
(令和3年3月末現在)  
登録団体 155 団体







ネットワーク団体紹介

# \*しあっChaou\*



今回はネットワーク登録団体に加入されている2団体をご紹介します。

## 更生保護女性会

更生保護女性会は、犯罪や非行に陥った人たちの立ち直りを見守り支えようと活動するボランティアの女性たちが集う組織です。

活動の源をたどれば明治期になりますが、昭和39年に組織化され全国規模の更生保護協力団体のひとつとして、活動の基本を更生保護に置きながらも更に犯罪や非行の防止のための啓発活動や子育て支援にも取り組むなど、約15万人の会員が全国津々浦々で頑張っています。

廿日市市では現在会員が211名、廿日市・佐伯・大野3支部で活動していますが、吉和や宮島も含めた廿日市市全体の活動へと広がっていくことが願いです。

2020年はコロナの関係でほとんど活動が出来ませんでした。これからも地道に地域に根差した活動を継続していきたいと思っています。

関心のある方はぜひ入会をお待ちしています。



大野ホームにてお好み焼き作り

### お問い合わせ

更生保護女性会

代表 成瀬 朝子

☎0829 (55) 0619



保護司会の皆さんと一緒に「社会を明るくする運動」に取り組んでいます

## 廿日市市サッカー協会 □

本協会は、平成15年にサッカー競技を健全に普及振興させることで、廿日市市の発展に貢献し、市民及び周辺地域住民の健康増進を図ることを目的として設立されました。協会登録者は800人くらいになります。県サッカー協会の傘下に所属し、JFA（日本サッカー協会）の情報なども共有しながら活動を行っています。組織形態は、各カテゴリーに人員を配置し、子供たちからシニアまで各種大会企画・運営しながら、小学生の大会では、吉田杯、けん玉カップU-12、けん玉カップU-10ほか、県予選を兼ねたリーグ戦を4月～9月に開催、中学生への支援は中体連に審判員の派遣、社会人においては佐伯リーグという名称で28年前より行っています。廿日市市サッカー場開設の翌年から8人制の大会も年間を通じてリーグ戦を開催、また、成人式の前日には新成人サッカー大会も開催し、13回目となります。

審判員の普及も目指し、審判講習会を年3回、4級新規講習会、3級昇級1次試験、3級更新講習会を行っています。廿日市市スポーツ協会の傘下でもあり、各種大会のボランティアにも参加しています。

「サッカーって楽しいね。サッカーまたやりたい。またみんなで汗かきたいな。」と言っていたようなサッカーファミリーを、そしてスポーツ文化をこの地域に作っていきたいと考えています。



昨年のけん玉カップU-12大会の表彰式および優勝チーム

### お問い合わせ

廿日市市サッカー協会

会長 永本 修

☎90 (8363) 3454

コロナ禍ならではのオンライン講演会を行われた廿日市市PTA連合会・廿日市市教育委員会と廿日市市協働推進課それぞれの取り組みをご報告いたします。

## はつかいち教育講演会

主催：廿日市市PTA連合会 共催：廿日市市教育委員会

令和3年2月20日、特定非営利活動法人 教授法創造研究所理事長の椿原正和先生による「子どもたちの学びを止めないオンライン授業の可能性」と題して、教育講演会を開催しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、初めてオンライン開催となりました。講師の椿原先生は熊本から、PTA本部は市民活動センター団体会議室におき、会長・司会者はPTA連合会事務局から、来賓の奥教育長は市役所教育長室からご参加いただき、教職員・保護者の研修参加者は学校で電子黒板を利用したり、個人のパソコンで視聴するなど、複数でディスタンスを保ちながら、さまざまな工夫をこらし、約100名が研修に参加しました。

奥教育長からは「これからは学校で一人1台の端末を使用しながらの教育を、学校・保護者と一緒になり成長を支えたい」と、来賓挨拶をいただきました。

講師の専門分野の授業論、ご自身の家庭での子育て論を視聴し、これからの対面、ICT利用の授業の両立が必要な時代だからこそ、適切な活用方法を学び、コミュニケーション能力を高めていける手引きとなる講演でした。



講師  
椿原正和 先生



犬飼PTA連合会会長



司会  
鈴木 金剛寺小PTA会長



PTA連合会本部



来賓  
奥典道 教育長

## 廿日市が面白い！つながり まちづくりトーク

主催：廿日市市協働推進課

地元業者や生産者、まちづくり活動団体の方々が、廿日市市に暮らしながら取り組みを進める中で、普段感じていること等を話し合うトークイベントを、令和3年2月10日にオンラインで開催しました。

第1部では、これまでのまちづくりを振り返り、松本太郎市長が「廿日市市がなぜ協働を目指したのか」と題して、パワーポイントで説明した後、協働によるまちづくり基本条例づくりに参加された坂本麻美さんへのインタビュー映像を流しました。

第2部では、廿日市市内でワクワクした楽しい活動をしている5人のパネリスト（大島久典さん・金澤萌さん・早川幸江さん・安村通芳さん・山崎幸さん）と協働によるまちづくり審議会の三浦浩之会長のコーディネートによるパネルディスカッションを開催。これからの廿日市を考えると、情熱とアイデアを共有しました。

今回、500人以上の人たちに視聴していただきました。現在、アーカイブ動画を市ホームページにて公開中です。スマホから簡単にアクセスできるようQRコードを貼っておりますので、ぜひご覧ください。



QRコード